

支援員三千の未知との遭遇！

染の小道

Some no Komichi

みなさん、ご存じでしたか？

あゆみの家がある新宿の落合・中井地区は、明治以降、昭和30年代まで、「染め物」の街として大いに栄えていたという事実を！
当時は300軒を超える染色関連業者が妙正寺川・神田川流域に立ち並び、職人が河床で反物を水洗いするのが風物詩だったのだとか。

かつては京都・金沢に並ぶ「染め物三大産地」のひとつとして名を馳せていた東京…

まさにその中心地が、ここ落合だったのです。
そんな「染めの街、落合・中井」を再発信しよう！というイベント、『染の小道』が、
去る2/22（金）から24（日）の3日間にわたり開催されました。

若手染色職人と商店会、住民が一体となって、「落合・中井を染め物で埋め尽くす！」というユニークなお祭りです。

あゆみの家でも染め物制作をしているグループもあることだし、来年度以降、もしかしたら参加してたり…して！？



爽やかな色、かわいい柄、クールなデザイン等々、ホントに様々な暖簾が。道行く人々が熱心に写真を撮っています。



お店のご主人が暖簾をつり下げています。



器屋さん。カッコいい！



食材が良くてどれもおいしい、と評判のカフェ「あんぶら屋」。暖簾のタイトルは「風が招く」。



あんぶら屋さんの手作りバナナケーキ。バナナの食感が残っていて美味♪。



染色協議会会員による反物・着物の展示。



新宿らしいこんな絵柄の作品も発見しました！



「川のギャラリー」

妙正寺川に約100mにわたって架けられた反物。たくさんの方の手によって染め上げられた「100人染め」も披露されました。